

18
ダビデ
聖徒伝 102

「主の約束に 希望を置いて」

サムエル記第二 21～22章

最後の戦い ダビデの歌

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. サウル家の報い 最後の戦い 21章

II. ダビデの歌 22章

聖書朗読：詩篇22章

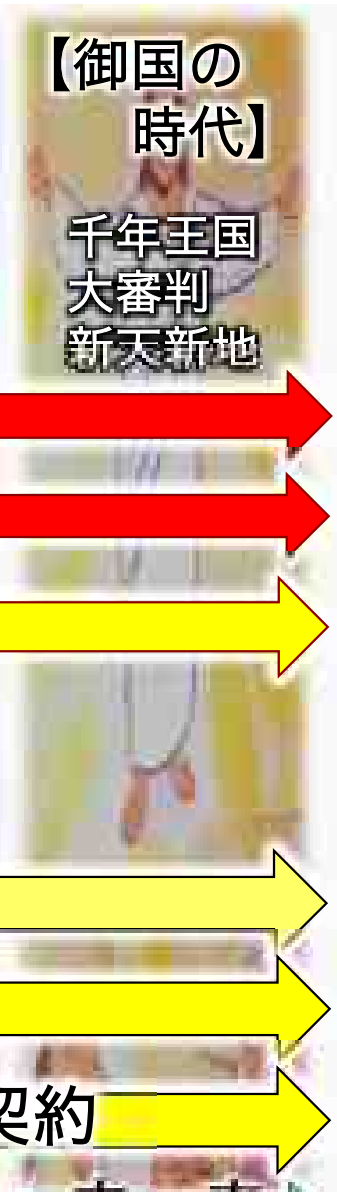
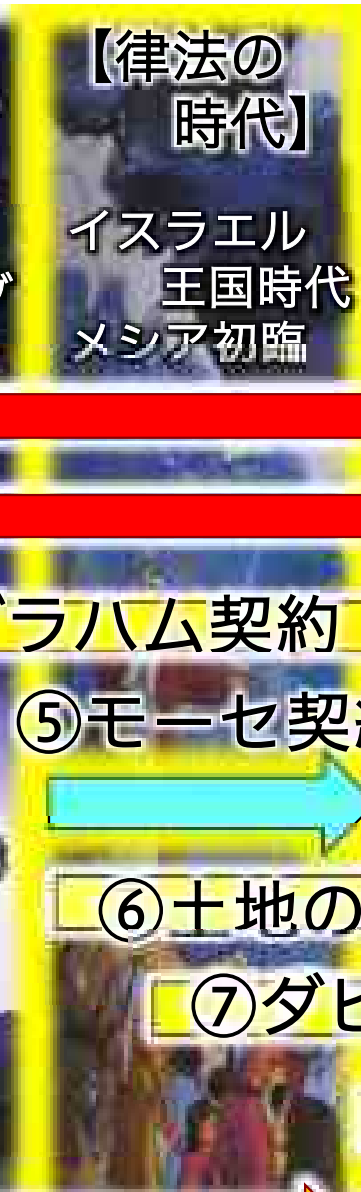
III. まとめと適用

再臨の主イエスこそ、

私たちの変わらぬ希望、力



エルサレムの夕日



【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル
王国時代
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

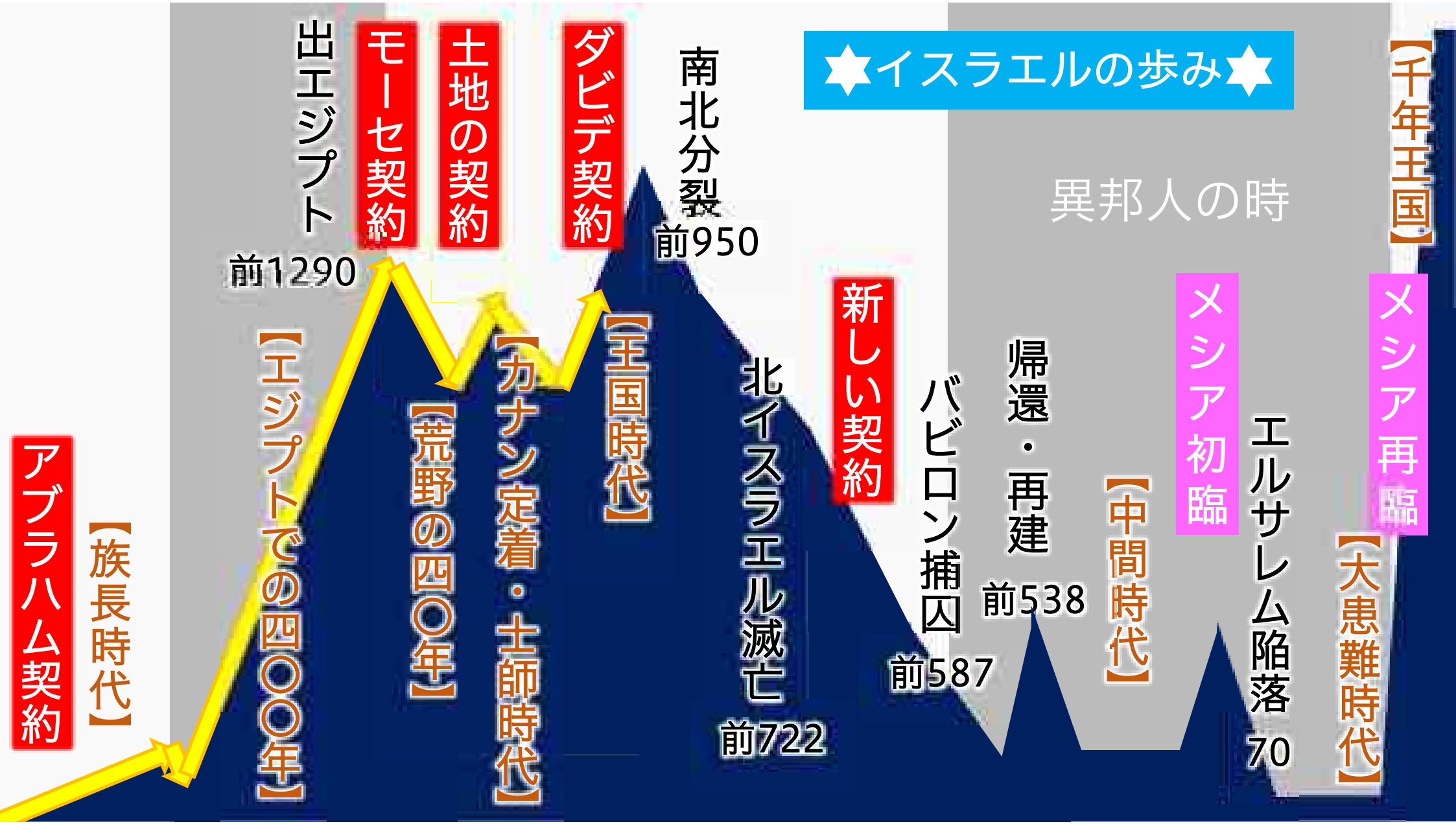
過去

現在

未来

どの時代も
神の約束が礎にある

★イスラエルの歩み★



異邦人の時

【千年王国】

メシア再臨

【大患難時代】

エルサレム陥落 70

メシア初臨

【中間時代】

帰還・再建 前538

バビロン捕囚 前587

新しい契約

北イスラエル滅亡 前722

南北分裂 前950

【王国時代】

【カナン定着・士師時代】

【荒野の四〇年】

【エジプトでの四〇〇年】

出エジプト 前1290

【族長時代】

アブラハム契約

サムエル記 第二

ダビデ王の治世の正と負

ユダの王	1 : 1~27	サウルとヨナタンの死
	2 : 1~4:12	ユダの王に即位
イスラエルの王	5:1~25	エルサレム遷都 全イスラエルの王に
	6:1~25	神の箱が都に上る
	7:1~29	ダビデ契約 の締結
	8:1~9:11	ダビデの治世 領土の拡大・義と憐れみ
失墜する 王の権威	10:1~12:31	アンモンとの戦い ダビデの過ちと悔い改め
	13:1~14:33	悪化する家族問題
	15:1~18:32	アブサロムの謀反 ダビデの都落ち
	19:1~20:26	ダビデの帰還
追記	21:1~22	サウルの氏族の末路・戦士ダビデの引退
	22:1~51	ダビデの歌
	23:1~39	ダビデの遺言 勇士たちの記録
	24:1~25	人口調査 ダビデの罪と罰

【ダビデの足取り】

■ダビデ王は、エルサレムを都とし神の箱を担ぎ上げた。神は、ダビデの王家を永遠に守り導き、子孫から、メシアが誕生することを告げられた。→**ダビデ契約**

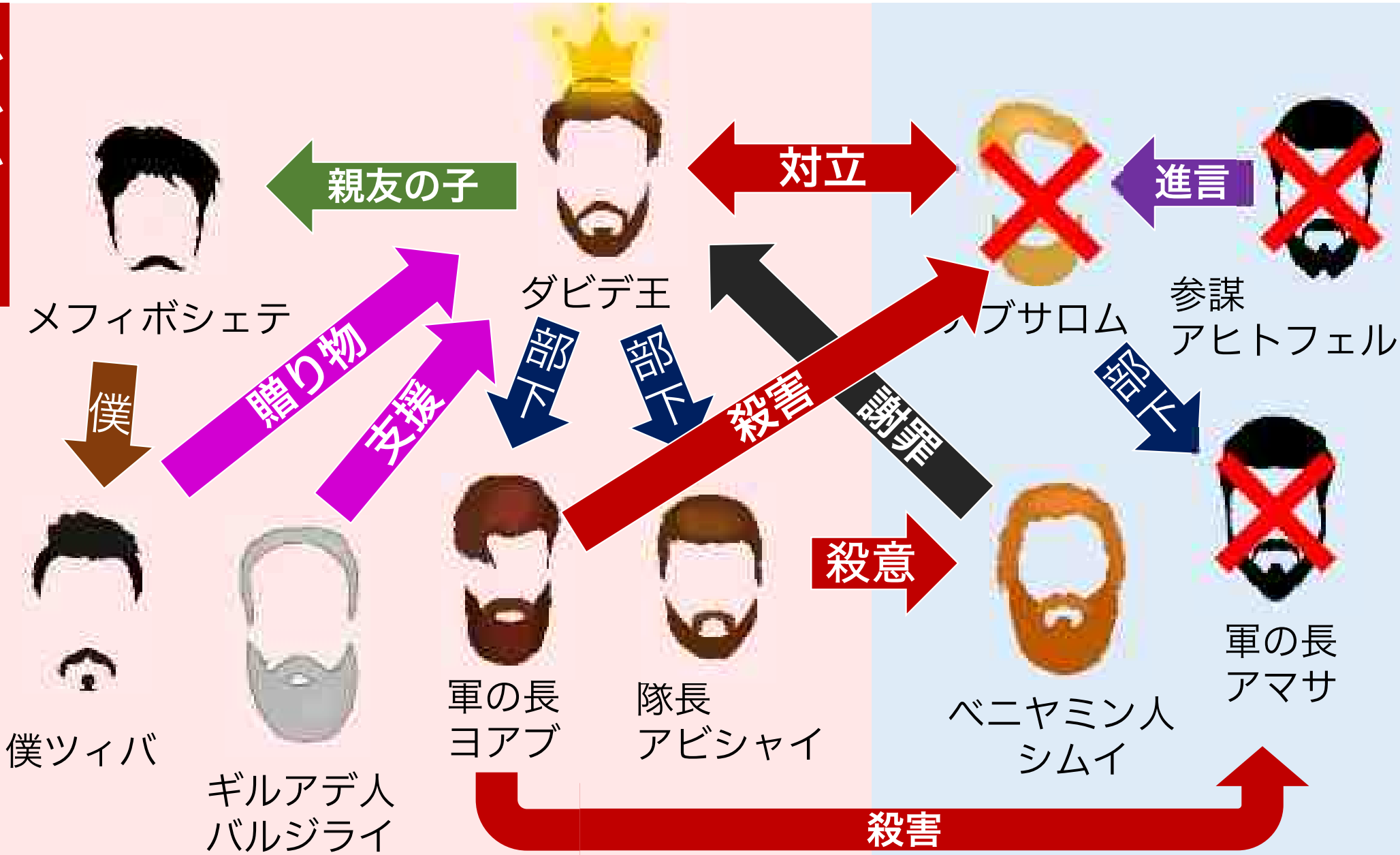
■周辺国の平定間近のある時、ダビデは、**バテ・シェバ**と姦淫を犯し、夫ウリヤを戦死に見せかけ殺害した。

■家族内に争いが生じ、息子**アブサロム**が王権を奪った。ダビデは都落ちし、主の懲らしめを甘んじて受けた。アブサロムは将軍ヨアブに討たれ、ダビデは悲嘆の中、王座に復帰、国内の混乱を治めた。



ダビデ側

アブサロム側





I. サウル家の報い 最後の戦い サムエルII 21章

【サウル王の罪】 II サムエル21:1

ダビデの時代に、三年間引き続いて飢饉が起こった。それで、ダビデは【主】の御顔を求めた。【主】は言われた。「サウルとその一族に、血の責任がある。彼がギブオン人*たちを殺戮したからだ。」

* 聖絶の対象だったカナンの先住民ヒビ人の一部族。
遠方からの訪問を装い、イスラエルと**盟約**を結び、
イスラエルの神に従った。(ヨシュア9:3～)

■ **盟約**を破り、ギブオンを殺戮したサウルの罪。

➔ 約束の地で不条理に流した血の責任(民35:33)



【サウルの熱情の結果】 IIサムエル21:2~3

王はギブオン人たちを呼び出し、彼らに話した。このギブオンの人たちは、イスラエル人ではなくアモリ人の生き残りで、イスラエル人は彼らと盟約を結んでいた。だが、サウルはイスラエルとユダの人々への熱心のあまり、彼らを討とうとしたのである。

ダビデはギブオン人たちに言った。「あなたがたのために、私は何をすべきであろうか。私が何をもって宥めを行ったら、【主】のゆずりの地が祝福されるだろうか。」

*ねたみ、熱情 …ねたみを伴うほどの激情

神のねたみは正しいが、人のねたみはねじ曲がる。



サウルの熱情は
ダビデへの
嫉妬に極まった

【ギブオン人の提案】 Ⅱ サムエル21:4～6

ギブオン人たちは彼に言った。「私たちと、サウルおよびその一族との間の問題は、銀や金のことではありません。また、私たちがイスラエルのうちで人を殺すことでもありません。」ダビデは言った。「私があなたがたに何をしたらよいと思うのか。」

彼らは王に言った。「私たちを絶ち滅ぼそうとした者、私たちを根絶やしにしてイスラエルの領土のどこにも、いさせないように企んだ者、その者の息子の七人を私たちに引き渡してください。私たちは【主】が選ばれたサウルのギブアで、【主】のために彼らをさらし者にします。」王は言った。「引き渡そう。」

ギブオンは、
律法の遵守を
提起した
(民35:33)

【メフィボシェテ】 II サムエル21:7

王は、**サウルの子ヨナタンの子メフィボシェテ***を惜しんだ。それは、**ダビデ**とサウルの子ヨナタンの間で【主】に誓った誓いのためであった。

*順位から言えば、筆頭にあげられただろうが…。

- **ダビデ**が、ヨナタンと結んだ兄弟の契りは、主への信仰に基づくもの。
- 主が**ダビデ**を新たな王に立てられたと理解しつつ、サウル王に従い通して死んだヨナタンは、家系が守られることを願った。(Iサム20:15)



契約の恵みに
守られた
メフィボシェテ

【サウルの7人の子孫たち】 II サムエル21:8~9

王は、アヤの娘リツパ*がサウルに産んだ二人の息子アルモニとメフィボシェテ*、それに、サウルの娘メラブ*がメホラ人バルジライの息子アデリエルに産んだ五人の息子を取って、彼らをギブオン人の手に渡した。彼らは、この者たちを山の上で【主】の前に、さらし者にした。これら七人は一緒に倒れた。彼らは、刈り入れ時の初め、大麦の刈り入れの始まったころ殺された。

*サウルの側女。後に將軍アブネルが通じたことも。

*ヨナタンの子メフィボシェテとは別人!!

*サウルが一方的にダビデとの婚約を破棄した長女。



過越祭の頃

【リツパの行い】 II サムエル21:10~11

アヤの娘リツパは、粗布を手にとって、それを岩の上に敷いて座り、刈り入れの始まりから雨が天から彼らの上に降るときまで*、昼には空の鳥が、夜には野の獣が死体に近寄らないようにした。

サウルの側女アヤの娘リツパのしたことはダビデに知らされた。

* 乾期(4~10月)の間。七ヶ月間。

← 神の飢饉が終わった

■ リツパは、二人の息子と五人の甥の遺体を荒らされないよう守り通した。



【ヤベシュ・ギルアデ】 IIサムエル21:12

ダビデは行って、サウルの骨とその息子ヨナタンの骨を、ヤベシュ・ギルアデ*の者たちのところから持って来た。これは、ペリシテ人がサウルをギルボアで討った日に、二人をさらし者にしたベテ・シャンの広場から、ヤベシュ・ギルアデの者たちが盗んで行ったものであった。

*首はペリシテ人が持ち去り、さらされた遺体をサウルとゆかりの深いヤベシュ・ギルアデの民が敵陣から取り返し、自分たちの地に埋葬した。



【神の心】 II サムエル21:13～14

ダビデはサウルの骨とその息子ヨナタンの骨をそこから携えて上った。人々は、さらし者にされた者たちの骨を集めた。

彼らはサウルとその息子ヨナタンの骨を、ベニヤミンの地のツェラにあるサウルの父キシユの墓に葬り、すべて王が命じたとおりにした。その後、神はこの国の祈りに心を動かされた。

■ サウル王の罪が贖われたこと。

主が油注いだサウル王の遺骨が丁重に葬られたことは、主の御心に適うことだった。



【ダビデの最後の戦い】 II サムエル21:15～16

ペリシテ人が再びイスラエルに戦いを仕掛けたことがあった。ダビデは自分の家来たちを連れて下り、ペリシテ人と戦ったが、ダビデは疲れていた*。

ラファの子孫の一人であったイシュビ・ベノブ*は、「ダビデを討つ」と言った。彼の槍の重さは青銅で三百シェケル*。そして彼は新しい剣を帯びていた。

*老齢で、ダビデの体力、気力とも衰えていた。

*ノブの家の者 …祭司の町ノブの先住民が先祖？

*青銅の穂先だけで、約3,4kg



【戦士からの引退】 II サムエル21:17

ツェルヤの子アビシャイ*はダビデを助け、このペリシテ人を打ち殺した。そのとき、ダビデの部下たちは彼に誓って言った。「あなたは、もうこれから、われわれと一緒に戦いに出ないでください。あなたがイスラエルのともしびを消さないために。」

*ダビデの甥。将軍ヨアブの兄弟。

三十勇士の筆頭。槍の名手。

■ゴリアテを討ち取って名を挙げた戦士ダビデも、歳を重ねて、ついに一線から退いた。



【部下たちの勇士】 II サムエル21:18~19

その後のこと、ゴブで再びペリシテ人との戦いがあった。そのとき、フシャ人シベカイ*は、ラファの子孫のサフを打ち殺した。

ゴブでペリシテ人との戦いが再びあったとき、ベツレヘム人ヤイルの子エルハナン*は、ガテ人ゴリヤテ*を打ち殺した。ゴリヤテの槍の柄は、機織りの巻き棒のようであった。

*12分団の第8分団の分団長(I 歴27:11)

*三十勇士の一人。

*ゴリヤテの子孫？



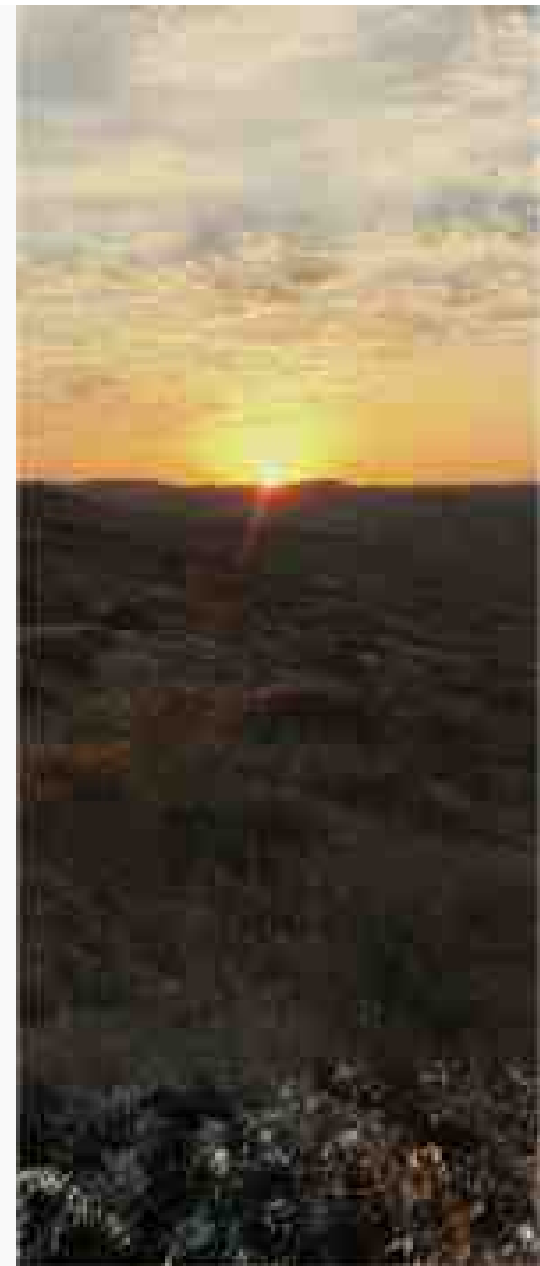
【討たれた四人の巨人】 II サムエル21:20~22

再びガテで戦いがあったとき、手の指、足の指が六本ずつで、合計二十四本指の闘士がいた。彼もラファの子孫であった。

彼はイスラエルをそしったが、ダビデの兄弟シムアの子ヨナタンが彼を打ち殺した。

これら四人はガテのラファの子孫で、ダビデとその家来たちの手にかかって倒れた。

- 戦士としてのダビデは引退しても、イスラエルの兵士たちは、ますます勇壮に戦い、イスラエルの力は高められていった。





II. ダビデの歌

サムエル記 II 22章

死海に昇る朝日

【ダビデの歌】 II サムエル21章(詩篇18篇)

① 神の性質・答えられた祈り 1～7節

② 再臨のメシア 8～16節

③ 主の救い 17～25節

聖書朗読 1～25節

④ 主の道を歩め 26～35節

⑤ 生きておられる勝利者なる神 36～51節

聖書朗読 26～51節



【主への賛歌】 II サムエル22:1

【主】がダビデを、すべての敵の手、特にサウルの手から救い出された日に、**彼はこの歌のことばを【主】に歌った***。

*この歌は、**ダビデの主への賛歌**。

■サウル王に命を狙われた長い逃亡生活が終わり、王となったダビデは、契約の箱を都に担ぎ上げた。

→**ダビデ契約**に言及(51節)。

ダビデが、信仰の生涯のピークで主に献げた賛歌



【神の性質】 II サムエル22:2~4

彼は言った。「【主】よ、わが巖、わが砦、わが救い主よ、身を避ける、わが岩なる神よ。わが盾、わが救いの角、わがやぐら、わが逃れ場、わが救い主、あなたは私を暴虐から救われます。

ほめたたえられる方、この【主】を呼び求めると、私は敵から救われる。」

＊**神の守り**を象徴する言葉を列挙するダビデ。

＊何より力があるのは、**神の御名**。

信仰者が**主の御名**を呼び求めるなら、救われる。





死の波は私を取り巻き、滅びの激流は私をおびえさせた。

【苦難からの叫び】 II サムエル22:5～7

死の波は私を取り巻き、滅びの激流は私をおびえさせた。よみの綱は私を取り囲み、死の罨は私に立ち向かった。

私は苦しみの中で【主】を呼び求め、わが神に叫んだ。主はその宮で私の声を聞かれ、私の叫びは御耳に届いた。

- 王に命を狙われ、精鋭部隊に執拗に追跡され、助けた同胞に裏切られたこともあれば、異邦人の手に捕らえられたこともあった。

苦しみの極みに
ダビデが見たものは？



再臨のメシア

Ⅱ サムエル22:8～11

地は揺るぎ、動いた。天の基も震え、揺れた。主が怒られたからだ。煙*は鼻から立ち上り、その口から出る火は貪り食い、炭火は主から燃え上がった。

主は、天を押し曲げて降りて来られた。黒雲をその足の下にして。主は、ケルビム*に乗って飛び、風の翼の上に自らを現された。

*神の栄光・シャカイナグローリー …神の顕現

*ケルビム …神の側近で仕える最上位の天使。

苦難のただ中で、栄光のメシアと出会ったダビデ



再臨のメシア

Ⅱサムエル22:8～16

主は、闇をご自分の周りで仮庵とされた。水の集まり、濃い雲を。御前の輝きから、炭火が燃え上がった。

【主】は天から雷鳴を響かせ、いと高き方は御声を発せられた。主は矢を放って、彼らを散らし、稲妻を放って、かき乱された。

こうして、海の底が現れ、地の基があらわにされた*。

【主】のとがめにより、その鼻の荒い息吹によって。

*あらゆる事象によって、さらなる神の栄光の顕現が!!

*メシアは、天地を造られた神ご自身。

→究極的に、メシアが世界を完全に造り変えられる。



【神の救い】 II サムエル22:17～20

主は、高い所から御手を伸ばして私を捕らえ、大水*から、私を引き上げられました。

主は、力ある敵から私を救い出されました。私を憎む者どもからも。彼らは私より強かったのです。

私のわざわいの日に彼らは立ちはだかりました。けれども、【主】は私の支えとなりました。

主は私を広いところに連れ出し、私を助け出されました。主が私を喜びとされたからです。

*大水 …象徴的に大軍を示す。



【信仰による神の義】 II サムエル22:21～25

【主】は、私の義にしたがって私に報い、手のきよさにしたがって顧みてくださいました。私は【主】の道を守り、私の神に対して悪を行いませんでした。

主のすべてのさばきは私の前にあり、主の掟から、私は遠ざかりませんでした。

私は主に対して全き者。自分の咎から身を守ります。

【主】は私の義にしたがって顧みてくださいました。御目の前の、私のきよさにしたがって。

＊神の約束を信じて義とされる → 救いの大原則

ダビデはただ主を信頼して義と認められた





聖書朗読 サムエル記第二 22章1～25節

22:1 【主】がダビデを、すべての敵の手、
特にサウルの手から救い出された日に、
彼はこの歌のことばを【主】に歌った。

22:2 彼は言った。

「【主】よ、わが巖、わが砦、わが救い主よ、

22:3 身を避ける、わが岩なる神よ。

わが盾、わが救いの角、わがやぐら、わが逃れ場、
わが救い主、あなたは私を暴虐から救われます。



22:4 ほめたたえられる方、
この【主】を呼び求めると、
私は敵から救われる。

22:5 死の波は私を取り巻き、
滅びの激流は私をおびえさせた。

22:6 よみの綱は私を取り囲み、
死の罨は私に立ち向かった。

22:7 私は苦しみの中で【主】を呼び求め、
わが神に叫んだ。

主はその宮で私の声を聞かれ、
私の叫びは御耳に届いた。



22:8 地は揺るぎ、動いた。天の基も震え、揺れた。

主が怒られたからだ。

22:9 煙は鼻から立ち上り、

その口から出る火は貪り食い、

炭火は主から燃え上がった。

22:10 主は、天を押し曲げて降りて来られた。

黒雲をその足の下にして。

22:11 主は、ケルビムに乗って飛び、

風の翼の上に自らを現された。



22:12 主は、闇をご自分の周りで仮庵とされた。

水の集まり、濃い雲を。

22:13 御前の輝きから、炭火が燃え上がった。

22:14 【主】は 天から雷鳴を響かせ、

いと高き方は御声を発せられた。

22:15 主は矢を放って、彼らを散らし、

稲妻を放って、かき乱された。

22:16 こうして、海の底が現れ、

地の基があらわにされた。

【主】のとがめにより、その鼻の荒い息吹によって。



22:17 主は、高い所から御手を伸ばして私を捕らえ、
大水から、私を引き上げられました。

22:18 主は、力ある敵から私を救い出されました。
私を憎む者どもからも。

彼らは私より強かったのです。

22:19 私のわざわいの日に彼らは立ちはだかりました。
けれども、【主】は私の支えとなりました。

22:20 主は私を広いところに連れ出し、
私を助け出されました。

主が私を喜びとされたからです。



22:17 主は、高い所から御手を伸ばして私を捕らえ、
大水から、私を引き上げられました。

22:18 主は、力ある敵から私を救い出されました。
私を憎む者どもからも。

彼らは私より強かったのです。

22:19 私のわざわいの日に彼らは立ちはだかりました。
けれども、【主】は私の支えとなりました。

22:20 主は私を広いところに連れ出し、
私を助け出されました。

主が私を喜びとされたからです。



22:21 【主】は、私の義にしたがって私に報い、
手のきよさにしたがって顧みてくださいました。

22:22 私は【主】の道を守り、
私の神に対して悪を行いませんでした。

22:23 主のすべてのさばきは私の前にあり、
主の掟から、私は遠ざかりませんでした。

22:24 私は主に対して全き者。
自分の咎から身を守ります。

22:25 【主】は 私の義にしたがって
顧みてくださいました。
御目の前の、私のきよさにしたがって。



【公正に報いる神】 II サムエル22:26

あなたは、恵み深い者*には恵み深く、全き者には全き方。清い者には清く、曲がった者にはねじ曲げる方。

苦しむ民を、あなたは救われますが、御目を高ぶる者に向け、これを低くされます。

【主】よ、まことにあなたは私のともしび*。【主】は私の闇を照らされます。あなたによって、私は防塞を突き破り、私の神によって、城壁を跳び越えます。

*主は、個々人の歩みに応じて、公正に報いを与える。

*主は、信仰者の行く道を照らし、導き、道を開かれ、妨げを乗り越える力を与えられる。



【愛する子を訓練される神】 II サムエル22:31

神、その道は完全。【主】のことばは純粹。主は、すべて主に身を避ける者の盾。

【主】のほかに、だれが神でしょうか。私たちの神のほかに、だれが岩でしょうか。

神は私の力強い砦。私の道を全きものとされます。

主は、私の足を雌鹿のようにし、高い所に立たせてくださいます。戦いのために私の手を鍛え、腕が青銅の弓も引けるようにされます。

- 神の御言葉に信頼して歩む者を、主が訓練し、さらなる戦いに臨めるよう、強めてくださる。



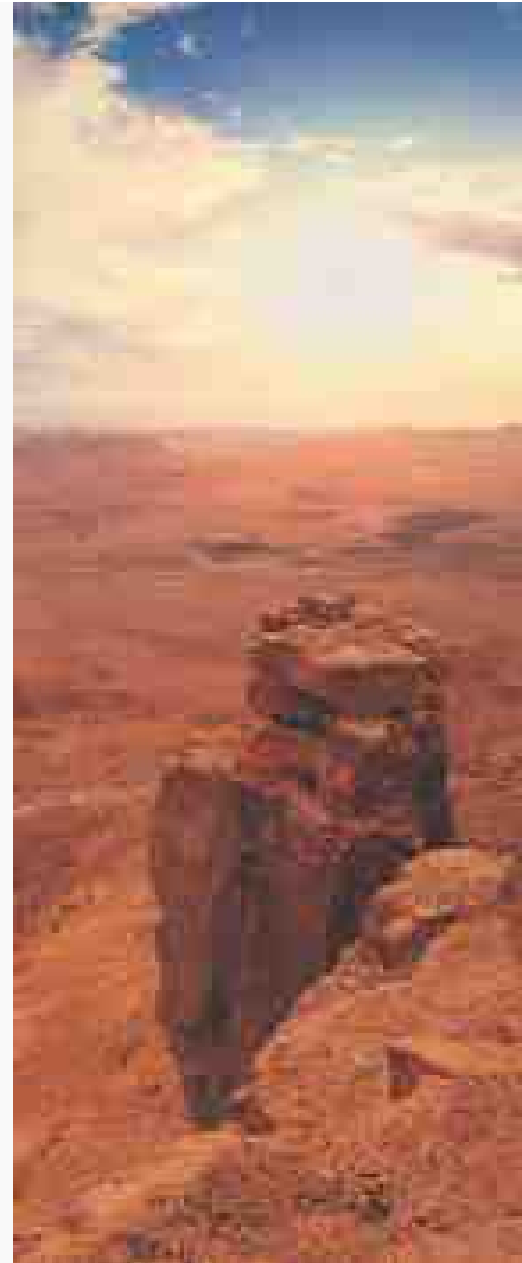
【主が勝利者とされる】 II サムエル22:36～39

あなたは御救いの盾を私に下さいます。あなたの謙遜は私を大きくします*。あなたは私の歩みを広げられ、私のくるぶしはゆるみません。

私は、敵を追ってこれを根絶やしにし、絶ち滅ぼすまでは引き返しませんでした。私が彼らを絶ち滅ぼし、打ち砕いたので、彼らは立てず、私の足もとに倒れました。

*神は私たちを前に立たせ、勝利を得させられる。

➔主が、弱く小さな私たちを用いられるのは、私たちに勝利の戦利品を得させるため。



【主がもたらした勝利】 II サムエル22:40～43

あなたは、戦いのために私に力を帯びさせ、向かい立つ者を、私のもとにひれ伏させました。

あなたは、敵が、私を憎む者どもが私に背を見せるようにされました。私は彼らを滅ぼしました。

彼らが【主】に目を留めても、救う者はなく、答えもありませんでした。

地のちりのように、私は彼らを打ち砕き、道の泥のように、粉々に砕いて踏みつけました。

■ ダビデの勝利は、すべて主によるもの。



【異邦人の支配】 II サムエル22:44～46

あなたは、民の争いから私を助け出し、国々のかしらとして保たれました。私の知らなかった民が私に仕えます。

異国の人々は私にへつらい、耳で聞くとすぐ、私に聞き従います。

異国の人々は打ちしおれ、砦から震えて出て来ます。

■王となったダビデは、イスラエルを苦しめ続けた、周辺の国々をも打ち破り、支配した。

➡異邦人もすべてメシアが治められる時が来る。



【私を引き上げられる主】 II サムエル22:47~49

【主】は生きておられる。ほむべきかな、わが岩。
あがむべきかな、わが救いの岩なる神。

この神は私のために、復讐する方。諸国の民を私の
もとに下らせる方。

神は、敵から私を携え出される方。あなたは、向か
い立つ者から私を引き上げ、不法を行う者から私を
救い出してください。

- 世にあって、どんな苦難があったとしても、
主は必ず、主を信頼する者を御許に挙げられ、
敵対する者に、厳正な裁きを下される。



【ダビデ契約の恵み】 II サムエル22:50～51

それゆえ、【主】よ、私は国々の間であなたをほめたたえます。あなたの御名をほめ歌います。

主は、ご自分の王に救いを増し加え、主に油注がれた者ダビデとその裔に、とこしえに恵みを施されます。」

- 主は、**ダビデ契約**に従い、
ダビデに永遠の王座を約束され、
ダビデ家の王の系譜を堅く守られ、
その子孫に、永遠の王メシアを立てられる。

ダビデの信仰のピークで
ダビデ契約は結ばれた





聖書朗読 サムエル記第二 22章1～30節

22:26 あなたは、恵み深い者には恵み深く、
全き者には全き方。

22:27 清い者には清く、曲がった者にはねじ曲げる方。

22:28 苦しむ民を、あなたは救われますが、
御目を高ぶる者に向け、これを低くされます。

22:29 【主】よ、まことにあなたは私のともしび。

【主】は私の闇を照らされます。

22:30 あなたによって、私は防塞を突き破り、
私の神によって、城壁を跳び越えます。



22:31 神、その道は完全。【主】のことばは純粹。

主は、すべて主に身を避ける者の盾。

22:32 【主】のほか、だれが神でしょうか。

私たちの神のほか、だれが岩でしょうか。

22:33 神は私の力強い砦。

私の道を全きものとされます。

22:34 主は、私の足を雌鹿のようにし、

高い所に立たせてくださいます。

22:35 戦いのために私の手を鍛え、

腕が青銅の弓も引けるようにされます。



22:36 あなたは御救いの盾を私に下さいます。

あなたの謙遜は私を大きくします。

22:37 あなたは私の歩みを広げられ、

私のくるぶしはゆるみません。

22:38 私は、敵を追ってこれを根絶やしにし、

絶ち滅ぼすまでは引き返しませんでした。

22:39 私が彼らを絶ち滅ぼし、打ち砕いたので、

彼らは立てず、私の足もとに倒れました。



22:40 あなたは、戦いのために私に力を帯びさせ、
向かい立つ者を、私のもとにひれ伏させました。

22:41 あなたは、敵が、私を憎む者どもが
私に背を見せるようにされました。

私は彼らを滅ぼしました。

22:42 彼らが【主】に目を留めても、救う者はなく、
答えもありませんでした。

22:43 地のちりのように、私は彼らを打ち砕き、
道の泥のように、粉々に砕いて踏みつけました。



22:44 あなたは、民の争いから私を助け出し、
国々のかしらとして保たれました。

私の知らなかった民が私に仕えます。

22:45 異国の人々は私にへつらい、

耳で聞くとすぐ、私に聞き従います。

22:46 異国の人々は打ちしおれ、

砦から震えて出て来ます。



22:47 【主】は生きておられる。

ほむべきかな、わが岩。

あがむべきかな、わが救いの岩なる神。

22:48 この神は私のために、復讐する方。

諸国の民を私のもとに下らせる方。

22:49 神は、敵から私を携え出される方。

あなたは、向かい立つ者から私を引き上げ、

不法を行う者から私を救い出してくださいます。



22:50 それゆえ、【主】よ、

私は国々の間であなたをほめたたえます。
あなたの御名をほめ歌います。

22:51 主は、ご自分の王に救いを増し加え、
主に油注がれた者ダビデとその裔に、
とこしえに恵みを施されます。」





Ⅲ. まとめと適用

再臨の主イエスこそ、私たちの希望・力

【老いたダビデの手に残ったものとは？】

- 巨人ゴリアテを討ち、名を馳せた勇士ダビデにも引退の時が来た。
- しかし、ダビデの勇姿は、忠実な部下たちに引き継がれ、神の民イスラエルの栄光は増し加えられていった。
- どんなに偉大な足跡を残した人の生涯にもいつか終わりは来る。
問われるのは、永遠に続く価値のために、どれだけ力を注いだか。
- ダビデの生涯は、主の約束に堅く立ち、主の信頼の上に献げられた。

あなたの生涯の後に残るのは、主に献げたもの、ただそれだけ

【ダビデの歌に学ぶこと】

- 無実の身で命を狙われ続けた、荒野の逃亡生活を経て王とされ、都に神の箱を担ぎ上げたダビデは、**渾身の賛歌**を主に献げた。
- 試練の極みにダビデは、**メシアなる神の栄光**の姿を見た。
ヨブが、神の試みの葛藤の果てに、主の声を聴いたように。
- 主は救いを成し遂げられ、信じる者を**永遠の御国**に招き入れられる。
真実の王、メシアが治める世界こそ、私たちが約束されたゴール。

私たちが待ち望むべきは、王の王、裁き主、再臨の主イエス

【私たちの待ち望む姿勢】

- 私たちの肉体は衰えていく、世界はますます混沌を深めていく。肉体も世界も、このままでは、死と滅びを免れ得ない。
- 主が来られるその時まで、必死に自分の信仰を保ち続けるしかない。御言葉を学び、福音を宣言すること以上に支えとなることはない。
- すべての希望は、十字架にかけられ、死を打ち破って復活された、救い主イエス・キリストの、王の王、裁き主としての再臨にある。

主の御霊によって新しくされて、日々に遣わされて行こう

コリント人への手紙 II 4:16~18

ですから、私たちは落胆しません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。

私たちの一時の軽い苦難は、それとは比べものにならないほど重い永遠の栄光を、私たちにもたらすのです。

私たちは見えるものではなく、見えないものに目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものは永遠に続くからです。

「天のお父さま。わたしは、み子イエス・キリストが、
①わたしの罪(つみ)を贖(あがなう)うために十字架で死に、
②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
③三日目に復活(ふっかつ)したことを信じます。

私たちの体は衰(おとろ)え、世界は壊(こわ)れていくばかりですが、
私たちの心と霊(れい)は、日々新しくされていきます。

主イエス・キリストが、王の王、裁き主(さばきぬし)として来られる
時を待(ま)ち望(のぞ)みます。

永遠の救いの約束にかたく立ち、今を歩む者としてください。

確信(かくしん)をもって、福音(ふくいん)を宣(の)べ伝える者として、
私を遣(つか)わし用いてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」